



◀ ふゆのはなわらび
(はなやすり科)

秋から春にかけて見られるシダ植物。栄養葉と胞子葉を出し、栄養葉は羽状に深裂する。

花期 花は咲かないで胞子をつくる

草たけ 15~30cm

生育地 林の中, 草原

○ワラビ・ゼンマイなどはシダ(羊歯)植物といわれ、花は咲かないで胞子をつける。若芽は食用とする。ワラビの根茎からデンプンを取り糊として使われた。

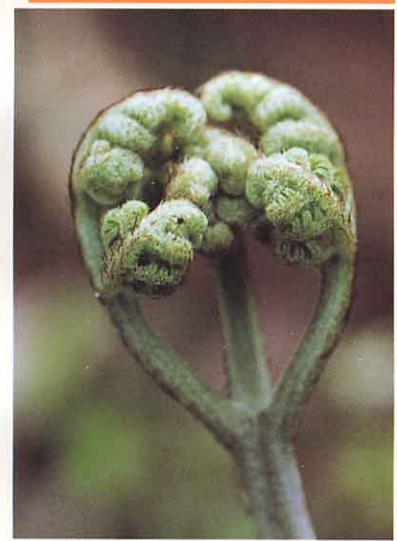
▼ わらび(わらび科) ▼

夏緑性のシダで根茎が地中をほう。葉柄の下部には茶かっ色の毛が密生する。若芽を食用とする。

花期 胞子をつくる。

草たけ 50~150cm

生育地 日あたりのよい草地, 原野



▲ 子供のこぶしのような形をしたワラビの若芽。



◀ りょうめんしだ
(うらぼし科)

大形で常緑性のシダで、胞子のう群のつかない葉では、葉の表と裏が同じに見える。

花期 胞子をつくる

草たけ 60~100cm(葉の長さ)

生育地 谷間, 杉林の中の湿地